



「さなぎ+はっば」展

武蔵野美術大学の学生たちが「さなぎ+はっば展」というテーマで制作した作品を展示しています。

2023 8/28 [月] - 12/23 [土]

主催: 徳島大学病院 協力: 武蔵野美術大学基礎デザイン学科

Hospital
Gallery

be

ホスピタル ギャラリー [ビ・イ]
徳島大学病院 西病棟 1階ロビー

今回展示するのは、武蔵野美術大学基礎デザイン学科2年生が、「形態論II」という授業を通して制作した課題作品です。授業では「かたち」の意味を模索し、その本質とは何かを考察します。今年のテーマの一つ目は「さなぎ」。昆虫が幼虫からさなぎを経て成虫になるプロセスは劇的です。この変化をかたちの変態(metamorphose)と捉え、ある2つの物体AとBを設定し、「もしも虫のさなぎのように変態が起こるとしたら」と仮想してみる。二つ目のテーマは「はっば」。その輪郭、葉脈、伸び方、群がり、虫食い、枯れた様子など、よく目を凝らすと、「らしさ」が見えてくる。その観察から得た「らしさ」を別の造形に落とし込むというもの。両テーマにおいて、自然の現象や形態から「かたち」とは何かをつかみとり、新たな「かたち」を創出するねらいがあります。ぜひ学生たちの力作をご鑑賞ください。

基礎デザイン学科教授 板東孝明・三澤 遥